



70歳以上限定の定期券 「グランド70」販売中

日ノ丸自動車「架け橋」と日本交通「シルバー悠遊」が一つになったバス定期券が発売されています。

価格：6ヵ月 25,000円

対象年齢：70歳以上

使用範囲：県内で日ノ丸自動車、日本交通が運行する路線バス

購入方法：年齢を証明できるもの、写真(27mm×21mm)を用意し、日ノ丸自動車または日本交通の各営業所へ

倉吉市住民参加型 バス停留所上屋整備事業

倉吉市では、公共交通の利便性向上と利用促進を目的に、地域の実情にあったバス停留所上屋を整備する団体に対し補助を行います。

補助対象者：自治公民館などの団体

補助額：バス停留所上屋1ヵ所について補助対象事業に必要とする経費(バス停留所上屋の建設に必要とする経費のみ)に3分の2を乗じて得た額または80万円のいずれか低い額以内

10月1日から路線バスのダイヤが 大幅に変わります

倉吉市の主な公共交通機関である路線バスを維持・確保するため、バス事業者に対し運行支援を行っていますが、マイカーの普及・道路交通基盤の充実などによって、その利用は年々減り続けています。

しかしながら、路線バスは市民の日常生活、経済活動に欠くことのできない重要な役割を担っているとの基本的認識に立ち、維持・確

保のため提供できるサービスとコストのバランスが適切となるようバス事業者と継続的に見直しの検討を行っております。検討の結果、変更可能なものについて10月1日のダイヤ改正にあわせ、見直しがされることとなりました。

詳しくはバス事業者にお尋ねになり、ご購入ください。

倉吉市内で運行されているバス路線の主な改正点

日ノ丸自動車(株)運行分	日本交通(株)運行分
<ul style="list-style-type: none"> ●社線と倉吉パークスクエア線の統合 ●栄線の運行経路、ダイヤの見直し ●赤碓線の運行便数、ダイヤの見直し ●穴鴨線、小河内線の休日ダイヤの見直し ●上井／三朝線、三朝線のダイヤの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ●関金線の運行便数、ダイヤの見直し ●関金線のうち大河原線のみどり町経由に変更 ●広瀬線、倉吉パークスクエア線のダイヤ見直し ●橋津線の運行経路、運行便数、ダイヤの見直し ●北条線の運行便数、ダイヤの見直し



路線バスのサービス、ダイヤなどの問合せ先は

- ・日ノ丸自動車(株)倉吉営業所 ☎ 26-4111
- ・日本交通(株)倉吉営業所 ☎ 26-1115

路線バスの運行などに関するご意見は

市役所企画課 ☎ 22-8161 / FAX 22-8144

E-mail : kikaku@city.kurayoshi.tottori.jp

6月に実施しましたアンケート調査結果を倉吉市HPに掲載しています。

公共交通機関はなぜ維持しなければならぬの？

公共交通機関は、子どもや生徒、お年寄りなど自動車免許を持っていない人にとって、欠くことのできない交通手段です。また、交通事故防止や交通渋滞の解消、排気ガスの削減などに優れ、その社会的意義はますます大きくなっていきます。現在、自家用車を利用していている人も、何らかの理由で使えなくなったら、地域に移動可能な交通手段があれば安心です。週に1度の買い物で、月に1度のお楽しみで。そんなちよつとした利用でも、公共交通機関の維持には、とても大きな力を発揮します。

バスは不便……もっと便利にできないの？

不便になった一番の原因は、利用者が減少したことです。利用者の減少による収入減は、路線の廃止や運行本数を減らすことなどで対応しなければならず、不便になり、バス離れを引き起こすという悪循環になっています。こうした中、公共交通機関をより便利で利用しやすくするため、人や環境にやさしい車両の導入などを進めています。私たちがもっともつと利用すれば、もっともつと便利にすることができ、交通弱者を守ることができます。

指定管理施設からの お知らせ

(財)伯耆しあわせの郷事業団

倉吉市小田 458 TEL 26-5581 FAX 26-5633

開館時間：午前 9 時～午後 8 時

休館日：月曜日

◆次の教室の受講生を募集します

教室名・講師	日 時	期間	定員	受講料・回数
木工教室 (米原益美さん)	第 2・4 木曜日 午後 1 時～4 時	10 月～ 3 月	6	6,000 円 (12 回)
園芸教室(草花) (松原益一郎さん)	月 2 回木曜日 午後 1 時～4 時	9 月～ 3 月	15	5,000 円 (10 回)
ギター教室 (渡辺晃一朗さん)	月 3 回土曜日 午後 1 時～3 時 30 分	10 月～ 2 月	10	7,500 円 (15 回)
男性のための料理教室 (杉本美智子さん)	10 月 26 日(木) 午前 10 時～午後 1 時		15	500 円 (1 回)

*ギター教室を受講される人は、各自でギター(クラシックギターまたはフォークギターなど)を持参してください。

*男性のための料理教室では、炊き込みおこわなどを作ります。

*申込は現在受付中で、定員になりしだい締め切ります。

*受講料は初回全納です。納入された受講料は原則として返金しません。

*各教室とも受講料のほかに材料費などが必要です。

*託児を希望される人は、教室申込の時にご相談ください。

※申込・問合せ先：伯耆しあわせの郷

◆高齢者の教室「しあわせ学園」の受講生を募集します

教室名・講師	日時	期間	定員	受講料・回数
民謡教室 (藪中みゆきさん)	第 2・4 木曜日 午後 1 時～3 時 30 分	11 月～ 3 月	40	5,000 円 (10 回)
日本画教室 (三島右畠さん)	第 1・3 火曜日 午後 1 時～3 時 30 分		40	5,000 円 (10 回)
詩吟教室 (藤原宗道さん)	第 2・4 金曜日 午後 1 時～3 時 30 分		30	5,000 円 (10 回)
書道教室 (水谷 治 さん)	第 1・3 水曜日 午後 1 時 45 分～4 時		40	5,000 円 (10 回)

*対象は、おおむね 60 歳以上の人。

*申込は、9 月 20 日(水)の午前 9 時から先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。

*受講料は初回全納です。納入された受講料は原則として返金しません。

*一部の教室を除き、受講料のほかに材料費などが必要です。

※申込・問合せ先：伯耆しあわせの郷

倉吉スポーツセンター

倉吉市葵町 591-1 TEL 22-5674

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 10 時

休館日：年末年始(12/29～1/3)

◆フロッカー教室を開催します

氷上で行うカラーリングを屋内で手軽に楽しめるように開発されたフロアカーリングの決定版です。

日 時：10 月 4 日(水)・11 日(水)の 2 日間
午前 9 時～11 時 30 分

場 所：倉吉スポーツセンター体育館

講 師：黒田多美子さん(倉吉市体育指導員)

定 員：20 人

申 込：9 月 20 日(水) 午前 9 時から先着順に受付(定員に達していない場合は当日参加も可)

*受講料は不要ですが、保険料として 100 円(2 日分)が必要です。

*運動のできる服装・タオルなどを持参してください。

※申込・問合せ先：倉吉スポーツセンター



水中ウォーキング&水中エアロビクス 参加者募集

申込期限：9 月 24 日(日) 必着

参加費：無料*プール利用料は別途必要です。

一般 500 円(午後 6 時以降 300 円)

70 歳以上 300 円(午後 6 時以降 200 円)

申込方法：温水プール受付で直接申し込む、またはハガキか FAX で「希望の教室名、郵便番号、住所、名前、年齢、電話番号」を記入し、お申し込みください。

主 催：倉吉市民健康づくり実行委員会
倉吉市

後 援：中部医師会・中部歯科医師会・中部薬剤師会・倉吉市食生活改善推進連絡協議会・倉吉市民健康づくり推進協議会

倉吉市営温水プール

倉吉市駄経寺町 198-2 TEL 47-1186 FAX 47-1187

営業時間：午前 10 時～午後 9 時

休館日：第 1・3 月曜日(祝日の場合は翌日)

ワクワク アクア

泳げなくても OK!! 水の抵抗や圧力、浮力などを利用した無理のない運動です。お仕事の帰りに、気楽に参加してみよう!! 運動習慣を日常生活に取り入れてこそ効果大。ストレス解消や仕事の疲れも癒します。

期 日：10 月 6 日、10 月 13 日、
10 月 20 日、10 月 27 日、
11 月 3 日、11 月 10 日
(いずれも金曜日で全 6 回)

時 間：18:45～19:30

対 象：倉吉市民で

18 歳以上の人

定 員：25 人(超えた場合抽選)

講 師：倉吉市営プール

高濱 智さん

ウキウキレディース

水の中で運動は初めてという女性へのクラス。音楽をかけて、みんな楽しく動きましょう。生活習慣病や骨粗鬆症予防のために、今から運動習慣を身につけることが大切です。シェイプアップしながら、お友達の輪も広がりますよ。

期 日：10 月 6 日、10 月 13 日、
10 月 20 日、10 月 27 日、
11 月 3 日、11 月 10 日
(いずれも金曜日で全 6 回)

時 間：10:30～11:30

対 象：倉吉市民で 18 歳以上の女性(初心者向け)

定 員：25 人(超えた場合抽選)

講 師：倉吉市営プール

岡本尚子さん



新たな国際交流のいぶき

韓国光州MBC放送 市長表敬訪問

9月6日、韓国光州MBC放送局のプロデューサー・白 宰燾(ベク・ゼフン)さんを始めとするスタッフ3人が、長谷川市長を表敬訪問されました。

これは、同局が「梨のドキュメンタリー番組」を制作するため、5日から8日の4日間、鳥取県内を取材するために先立ち行われたもので、市長に行政と農業生産とのかわりや二十世紀梨のことについて質問されました。

倉吉市と姉妹都市交流を進めている韓国・羅州(ナジュ)市は、韓国を代表する梨の一大産地を誇ります。この番組では、羅州市の梨生産の現状と課題を追求する内容となっています。

一行は、梨生産の先進地としての取り組みを取材するため、鳥取二十世紀梨記念館、JA鳥取中央東郷選果場、鳥取県園芸試験場、倉吉梨選果場、市内服部の梨農家、鳥取大学などを訪問しました。

*制作された番組は、羅州市を含む全羅南道全域で10月下旬に放送予定。



市長ブルガリア大使館を表敬訪問

長谷川稔市長は、8月31日、センドフ駐日ブルガリア大使を東京代々木の大使館において表敬訪問しました。

今回の訪問は、倉吉市出身の福井宏一郎在ブルガリア大使に労を執っていただきました。

当日は、アラバジェ政務担当書記官とガンチェヴァ文化担当館員に同席をいただき、友好を深めました。

話題は、倉吉市出身の元佐渡ヶ嶽親方(元横綱琴櫻)とその愛弟子で日本とブルガリアの架け橋である大関琴欧州関の活躍、28回を数える桜ずもう大会への参加、ワインや野菜作りといったお国自慢など、歴史、文化や経済といった幅広い会話がなされ、1時間ほどの滞在となりました。

お別れの際、センドフ大使から、機会があればぜひ倉吉の地を訪問してみたいとお話がありました。



今年の韓国のお盆は ゴールデンウィーク!?

9月に入り、朝晩はだいぶ涼しくなり、日に日に秋らしさを感じるようになってきました。みなさん、気温の変化で風邪など引かないように、気をつけてください。

この時期になると、韓国では日本のお盆に当たる「秋夕(チュソク)」の準備で主婦は大忙しです。

「秋夕」は旧暦の8月15日にあたり、今年10月6日になります。普通なら前日の5日から日曜日の8日までの4日間が連休になりますが、今年は祝日に当たる10月3日の開天節(建国記念日)も「秋夕」の直前となることから、9月30日の土曜日から、長くは9日間休み会社もあるそうです。

まさに、今年の「秋夕」は韓国人にとってゴールデンウィークです。この連休の間は、商店も休むところが多いですから、この時期韓国を訪れる人は事前によく確認してください。

韓国人の中には、長い連休を利用し、今年、里帰りの代わりに旅行を計画して

“とっておきの話”
ソナちゃんやぎ

선하 짱 이야기



No. 5

国際交流員

キム ソナ
金 善夏

韓国出身

<今日のキーワード>
한국의 오븐 추석
: 韓国のお盆「秋夕」

いる人も多いようで、国内旅行先人気ナンバー1の済州島行きの飛行機は8月には予約が終わり、日本や中国、東南アジアなどの近距離の海外路線も空席がないほどです。でも、国外で「秋夕」を迎える私の立場から見ると、「秋夕」はやはり、里帰りして、久しぶりに会った親戚と美味しいものを食べながらの楽しい楽しまるのが一番幸せな過ごし方だと思いますけど…。

韓国の「秋夕」は儒教の教えで、祭祀(法事)を行い、先祖の墓にお参りし、松餅(ソンピョン)・秋夕に食べるおもち)を食べ、久しぶりに親戚一同がそろって韓国ならではの良き風習です。しかし最近の韓国の「秋夕」は時代の流れでしょうか、茶礼(チャレ)や祭祀(チエサ)と呼ばれる法事もだんだんと簡略化され、仕出しで料理をとったり、儀式を正確に進行させるお年寄りが少なくなつたせいで、やり方を巡って親族同士のケンカに発展したりしています。また、近ごろでは「故人が生前好きだったものをお供えすれば一番よいのだから、この際何でもよい」とハンバーガーを供物に添える人もいるそうです。



祭祀の膳(ぜん)。祭祀とは先祖の霊をまつる行事で韓国の重要な慣習の一つ

便利さと簡易さを追求するのは時代の流れかもしれませんが、韓国固有のものや少しづつなくなつていくよう、ちょっとしたさびしい気もします。

「こほろぎ嬢」

ロケ情報



ロケ地としての倉吉

映画「こほろぎ嬢」の撮影では、飛龍閣・倉吉大店会・豊田家住宅・小川酒造・白壁土蔵群周辺など各地でロケが行われました。

多くのロケ候補地の中からロケ地に選ばれるためには、各シーンにふさわしい場所であることはもちろんのこと、その街が長い歴史の中で培ってきた地域固有の文化的雰囲気、魅力があることが大切です。

そして、地域の人々が映像文化を理解し、受け入れ、支援する機運があることも大切な要素として挙げられます。

今回の映画撮影では、それらの要素を兼ね備えた倉吉で多くのロケが行われましたが、倉吉にはまだまだ魅力的な地域資源があり、ロケ地として可能性があります。

このたび映画が完成し、いよいよ10月に



伯耆国片跡での豚の実験シーン

全国に先駆けて鳥取県先行上映会が開催されます。フィルムを通して映し出される倉吉の街の魅力をぜひご覧ください。

ロケ地紹介④ 伯耆国片跡、大山池

この映画の時代背景は昭和の初期。電柱や現代の建物が写り込まない草原を探してやっと見つけた伯耆国片跡(国分寺)では、

松木(外波山文明)が松木

夫人役の吉

行和子さんと共に、豚

の実験シーンが撮影されることになりました。

倉吉ロケ最終日に撮



大山池にかすかに写る逆さ大山

影が行われた大山池(松河原は、「晴天の風がない早朝に、大山が逆さまに写る」という地元の人からの情報で撮影に向かいました。わずかな風で水面がゆれると大山は写らず、あきらめかけたその時、数分だけ風がぴたりと止まり、かすかに大山が水面に映し出されたのでした。

鳥取県先行上映会

とき：10月17(火)・18日(水)

①午後1時45分 ②午後6時45分

ところ：倉吉未来中心小ホール

製作上映協力券：1,500円

(当日1,800円)

取扱所：倉吉未来中心・倉吉交流プラザ

ほか

※問合せ先：映画「こほろぎ嬢」サポートクラブ(渡辺 23-0387) / 市民参画課(22-8159)

22-8159 / FAX 22-8144

ホンモロコの養殖

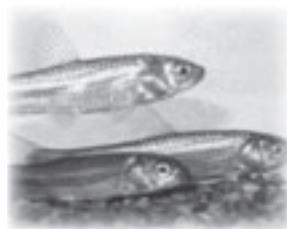


倉吉市の三江、横手集落で休耕田を利用して、ホンモロコの養殖が行われています。

ホンモロコは、ワカサギと同じくらいの大きさで関西(主に京都)では高級魚で知られて



いますが、近年は自然環境の変化などで、琵琶湖でもほとんど捕れなくなり、珍重品となっています。煮てよし、焼いてよし、揚げ



てよし、佃煮もよし。カルシウムも多く丸ごと食べられる健康食品として今注目の食材です。

これの特産物として定着させ、地域の活性化を図りたいと、三江集落は平成16年度から、横手集落は平成18年度から生産組合を立ち上げ取り組んでいます。中部ホンモロコ生産組合代表の吉田勲さんは、「長谷の観音市で販売したり、学校給食に提供したりして好評であった。生産が軌道に乗ってきたので加工品を作って商品化していきたい。現在は京都方面に出荷しているが地域の旅館や飲食店などへも広げていきたい」と抱負を語られている。

※問合せ先：中部ホンモロコ生産組合(吉田 28-0226)